



発行 | 渋谷区
編集 | 広報コミュニケーション課
所在地 | 〒150-8010 宇田川町1-1
電話 | 03-3463-1211 (代表)



@city_shibuya_official



@shibuyacity

区SNSは
こちら



(左から) 松崎キミ代さん、住吉りをんさん

※インタビュー時は、マスクを着用、換気、社会的距離の確保を徹底し、感染対策を行いました。撮影時のみ、マスクを外して撮影しました。

聖火ランナーたちがつないだ、未来への思い。

- | | | | |
|--------------------|---------------------|------------------------|--------------------|
| 2 尊敬する気持ちを大切に、 | 4 令和3年第3回 | 9 J-ALERT全国一斉情報伝達試験を | 12 新型コロナワクチンに関する |
| 3 スポーツで世界とつながろう。 | 8 区議会定例会区長発言(抄)ほか | 11 実施しますほか | お知らせ |

不要不急の外出自粛と感染防止対策の徹底をお願いします。

掲載情報は新型コロナウイルス感染症の影響により、変更となる場合があります。

尊敬する気持ちを大切に、ス

渋谷のラジオで
出張インタビュー



東京2020オリンピックで聖火ランナーを務めた卓球界のレジェンド・松崎キミ代



とも
聖火が灯された時、
全国でつながれてきた
聖火の重みを感じました。

まつざき よ
松崎キミ代さん

昭和13年香川県生まれ、元卓球選手。過去出場の世界卓球選手権大会では7個の金メダルを獲得。世界卓球殿堂入りも果たす(平成9年)。その後長年、区内の卓球教室などで指導を行い、渋谷区区政功労者(平成23年)、渋谷区名誉区民(令和2年)に顕彰された。

1万人のランナーたちがつないだ聖火

お二人の自己紹介をお願いします。

松崎: 元卓球選手です。昭和34年から昭和38年までの世界卓球選手権大会でシングルス、ダブルス、混合ダブルスなどの種目に出場し、おかげさまで通算7個の金メダルを取ることができました。引退後は、区内の卓球教室で指導したり、卓球の普及活動に携わったりしていました。今は卓球からは離れて、ゆったりとした毎日を過ごしています。

住吉: 高校に通いながらフィギュアスケートをしています。3歳のころ、姉の通うフィギュアスケート教室についていった時に「私もやりたい」と言ったのがきっかけで始めました。今は日本スケート連盟の強化選手Bとして、毎日練習に取り組んでいます。

聖火リレーに参加することが決まった時の心境はいかがでしたか。

松崎: やはり名誉なことだと思いましたね。ただ最近、ジョギングはおろか散歩もしていなかったもので、走れるかどうか少し不安でした。「無理せず、歩いてもいいですよ」と言っていたいただいてほっとしました(笑)。

住吉: 今まで身近じゃなかった東京2020オリンピックや聖火リレーに関われることになってうれしかったです。冬季オリンピックはいつも意識していたんですが、夏季オリンピックは観戦することしか考えていなかったもので、参加が決まった時はすごく驚きました。

聖火リレーに向けて何か準備はされましたか。

松崎: 本番の3か月前から、近所の公園で走る練習を始めました。ところ

が、久しぶりに走って見たら100mも行かないうちに膝が痛くなりまして(笑)。無理はしないようにしようと思って、結局、準備というほどのことはできませんでした。

住吉: 私も準備は特に何もしていなかったんですが、競技や練習でけがをして聖火リレーで走れなくなってしまったら困ると思い、とにかく普段から気を付けるようにしていました。

トーチの重さは1.2キロあるとのこと。持って走るのは大変そうですね。

松崎: トーチを持ちながら走る練習も少しやりました。こうもり傘に重りを縛り付けて走って見たら、だんだん重く感じてきましたね。

住吉: ええ、実際に持ってみたら意外と重かったです。当初は200mほど走る予定だったのですが、トーチを持って走るようになっていたら、ちょっと大変だったかもしれません。

今回、聖火リレーは新型コロナウイルスの影響で多くの変更がありました。当日はどのように行われたのでしょうか。

松崎: 公道でのリレーは中止になって、芝公園の会場で点火セレモニーのみ行われました。舞台に一人ずつ上がり、トーチキスをして降りるという形式でした。

トーチに火を灯された瞬間は、どのようなお気持ちでしたか。

松崎: ステージに上がってみると、思っていたより緊張しました。火を灯した瞬間は、「全国で約1万人の聖火ランナーたちがつないできた聖火なんだ」と重責を感じましたね。

住吉: 大切な聖火をつなぐことに感動しました。緊張よりもウキウキして舞い上がる気持ちの方が強くて。ずっとニコニコしていて、気付いたら終わっていました(笑)。点火セレモニーを終えた時には「もう終わっちゃったんだ」と寂しく感じました。

互いに尊敬し合いながら戦う選手たちに心を打たれた

東京2020大会では、「すべての人が自己ベストを目指し」「一人ひとりが互いを認め合い」「そして、未来へつなげよう」という3つのコンセプトが掲げられていました。

松崎: 卓球の場合は、相手があってこそそのスポーツですので、常に相手を尊敬する気持ちを持ちながら必死に戦います。そして、敗者は勝者をたたえる。まさに互いが認め合う姿だと思いますね。これはどのスポーツにも通じるものではないでしょうか。今大会でも、若い選手たちが同じ思いで試合に臨んでいる姿を見て、互いをリスペクトし合う心は未来につながっていくと確信しました。それから今回、卓球では、伊藤美誠選手と水谷隼選手が男女混合ダブルスで史上初の金メダルという見事な成績を収めました。特に伊藤選手は、信じられないような威力のボールを打ち返していて、本当に驚きましたね。

住吉: フィギュアスケートは自己ベストを更新していくことに重点を置

渋谷区の番組を放送中です

ラジオ渋谷区ニュース

月~木 11:00/16:00/21:50 (10分間)
「渋谷区ニュース」の情報を発信します。

渋谷いきいき倶楽部

月~金 13:00/16:30 (30分間)
シニアの皆さんを応援する番組です。

渋谷の星

火 11:15 (45分間)
渋谷区で活躍する人たちが登場します。

渋谷のくらし

金 16:00 (30分間)
地域の催しなどの様子を伝えます。

ラジオ渋谷区ニュース(区長の部屋)

金 11:00/17:00/19:50 (10分間)
長谷部区長が出演します。
(ラジオ渋谷区ニュースの内容になる場合あり)

スポーツで世界とつながろう。

さんと、フィギュアスケート選手の住吉りをんに、東京2020大会への思いを伺いました。

く競技ですので、体操や新体操などの審美系スポーツに共通点を感じて注目していました。どの選手もオリンピックという大舞台で全力を出し切ろうとしていて、すごく感動しました。選手の皆さんが互いを尊敬しながら、ライバル心も絶やさないう姿勢で試合に臨んでいて、スポーツの素晴らしさを改めて感じました。

——お二人にとって、オリンピックとはどのような大会ですか。

松崎: 私の現役時代、卓球はオリンピックの競技種目に入っていなかったのので、世界卓球選手権大会が一番大きな大会でした。私は昭和34年の世界選手権に初出場した時から現在に至るまで、当時の海外選手たち、特に強豪国である中国の選手たちとはずっと親しくしています。中国と日本は昭和47年に国交が正常化しましたが、選手同士はその前からつながっていました。激しく戦った選手ほど親しいんです。東日本大震災が起こった時も、海外の選手たちから心配する声がたくさん届きました。スポーツは国境を越える素晴らしいものです。オリンピックも、そういったつながりが生まれる貴重な舞台だと思います。

住吉: 松崎さんのお話を伺って、多くの競技がオリンピック種目に加わって本当にありがたいと感じました。アスリートの一人として、世界中の選手たちが一堂に会する機会があること、それが目標になることに感謝します。オリンピックという大きな舞台があるからこそ、頑張ろうという気持ちが強くなりますね。私も冬季オリンピックに出場したいと改めて思いました。

松崎: 頑張ってね！

住吉: ありがとうございます！

——住吉さん、改めて今後の意気込みをお聞かせください。

住吉: 今年の全日本選手権で、北京2022オリンピックへの出場選手が決まります。私はジュニアで参戦する予定で、オリンピックはまだ遠いものだと思っていますが、これから技術だけではなく、表現力や自分の内面をもっともっと磨き、オリンピックの選手にふさわしいスケーターになれるように頑張ります。

——区民の皆さんに向けてメッセージをお願いします。

松崎: 私は香川県出身で、渋谷に移り住んで50年になります。区からも区民の皆さんからもとてもよくしていただいて、本当に感謝しています。これからもお世話になりますので、よろしく願います。

住吉: 渋谷区にいるからこそ、練習場に恵まれて、質の良い練習に取り組んでいると思います。全国中学校スケート大会で結果を残した時は長谷部区長に直接応援の言葉をいただいて、すごくうれしかったです。多くの支えに恩返しできるよう努めていきます。



トーチキスポーズを話し合っている時も楽しかったです！

すみよし
住吉りをんさん

平成15年東京都生まれ。原宿外苑中学校出身。駒場学園高等学校スケート部所属。令和2年11月、東日本フィギュアスケートジュニア選手権大会優勝。同年12月には全日本フィギュアスケート選手権大会で、自身初のシニア大会出場を果たす。



▲緊張した面持ちでトーチキスに臨む松崎さん



▲トーチキス後、笑顔でポーズを決める住吉さん

東京1964オリンピックのメモリアル・プレート ごりんばし 五輪橋

10月1日号の表紙を飾った五輪橋は、東京1964オリンピックの開会式直前に、神宮地区と代々木地区の主要会場エリアをつなげる橋として造られた。平成5年、都の整備事業により、月桂冠のモチーフや、1964大会で日本が活躍した競技のレリーフが掲げられた現在の姿にリニューアル。地球儀には、1964大会スローガンの「世界はひとつ」という意味が込められている。



松崎さん、住吉さんへのインタビューは10月5日・12日に「渋谷の星」で放送します。



バックナンバーはこちら



問 広報コミュニケーション課広報係 (☎03-3463-1287 ☎03-5458-4920)



「しぶや区ニュース」×「渋谷のラジオ」とは？

「しぶや区ニュース」では毎号、「渋谷のラジオ」と連動したページを掲載。「しぶや区ニュース」と「渋谷のラジオ」が連携して、人と人のつながりが広がる紙面を届けています。



周波数：87.6 MHz FM

☆公式アプリ(iOS・Android)でも聴取可能

所在地 | 渋谷3-22-11 サンクスプライムビル1階 TEL | 03-6712-6876

FAX | 03-5778-9620 E-MAIL | info@shiburadi.com HP | shiburadi.com/